

提出年月日: 令和元年 8 月 26 日

提案団体名: キヤノンマーケティングジャパン株式会社

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)~(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
①超高精細可視センサ搭載カメラ(1.2億/2.5億画素センサ)による広域空間での超広角・超望遠画像の撮像技術 ②超高感度可視センサー搭載カメラによる暗間の中での撮像技術 ③雨天時の視認性と防汚性を向上するネットワークカメラの親水コーティング技術 ④さまざまな用途に適応できるカメラ技術 ・ウェアラブル、車載、生産現場(FA)、サーマル、赤外照明、魚眼、カメラ分離型 ⑤大規模システムまでの拡張性がある、映像管理基盤技術 ・プラットフォームに必要な機能の追加や、システム連携を実現する技術 ・オンプレミスのみならず、クラウドにネットワークカメラの映像を管理する技術 ・膨大な録画映像から有用情報(属性、色、大きさ、速度、方向、軌道、滞留等)を抽出する映像要約技術 ・膨大な録画映像からヒートマップや動線を解析する技術 ⑥映っている人のプライバシーに配慮したモニタリングを可能にするシルエット表示技術 ⑦さまざまな場面での、混雑状況や来場者数、人の流れを把握可能な群衆の人数をカウントする技術 ⑧複数のネットワークカメラからの映像から、顔や全身の特長により特定の人物を検出、追跡、検索する技術 ⑨ネットワークカメラの映像から行列待ち時間を推定する技術 ⑩ネットワークカメラの映像から商業施設の来場者の滞在時間を推定する技術 ⑪行動(転倒、車椅子、白杖)を検知する技術 ⑫ベンダニュートラルな医療情報の収集・統合・解析・可視化を可能にした診断支援ソリューションとAI技術	①(1) ②(1) ③(1) ④(1) ⑤(2)(4)(5) ⑥(2)(5) ⑦(2)(5) ⑧(2)(5) ⑨(2)(5) ⑩(2)(5) ⑪(2)(5) ⑫ (2)(3)(4)(5)

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
 ※課題については、別紙の(ア)~(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
■高く、下からでは遠くで見えない橋梁のひび、割れ等を点検可能にする②暗間(トンネル内、災害時の電源喪失時、立ち入り禁止エリア等)でも鮮明に状況を把握する ■EFレンズ(一眼カメラレンズ)による、広域から遠方での監視業務 ■トンネルや超巨大橋梁、地下空洞空間での点検を少ない明りでも対応可能にする ■大規模災害時の電源喪失環境において、災害対策用ドローンを活用して状況把握を可能にする ■港湾の、立ち入り禁止エリアにおける暗間のセキュリティ対策が可能になる③雨天時の映像の視認性の向上、付着汚れを浮かして流し落とすことで、クリアな映像での屋外を監視する④身体への装着する移動型カメラ(ウェアラブルカメラ)、電車やバスの車内に設置(車載カメラ)、生産現場(FA)、低照度の 環境の監視(赤外)、発熱を伴う事故の監視(サーマル)、360度の広域を監視(魚眼)、目立たない個所/壁/壁面への 設置(カメラ分離型)により、様々な用途に対応可能になる⑤映像管理基盤をベースにして、様々なネットワークカメラ、IoTデバイスとの接続、他のITシステムとの連携および画像 解析機能のプラグインが可能であるため、多様なサービスを実現できる ■移動、物流、生産現場、インフラ、防災・気象、エネルギー・環境、観光等の領域における 様々な社会課題を解決することに貢献する ■膨大な録画映像を短時間で閲覧可能により映像確認作業の効率を大幅に向上させる ■来店客の動線や交通量の傾向を把握するマーケティング分析に活用する⑥公共交通機関や施設の混雑度状況の把握などプライバシーに配慮したサービスに活用できる⑦群衆の混雑度の可視化により警備員の最適配置や避難誘導のプランニングに活用できる⑧大勢の中から特定の人物(不審者など)を素早く発見して警備体制を強化する ⑨空港や駅、商業施設での行列待ち時間を推定することで、混雑緩和の施策に活用できる⑩商業施設の来場者の滞在時間やプロフィール(年齢・性別)を把握することでマーケティングの施策に活用する⑪転倒、車いす、白杖を検知することで事故の防止や、要支援対象者に声掛けなどサポートを行う⑫院内情報の共有にとどまらず、地域包括ケアシステムまでを視野にいれた患者中心の医療の実現を目指す	①(エ) ②(ウ) ③(ウ)(ケ) ④ (ア)(ウ)(キ)(ケ) ⑤映像管理基盤としてすべての課題への対応可能 ⑥ (ア)(ウ)(オ)(カ) ⑦ (ア)(ウ)(オ)(カ) ⑧(ウ)(ケ) ⑨(ア)(オ) ⑩(オ)(キ) ⑪(ア)(カ) ⑫(カ)

(3) その他

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
公共・NTT営業本部	加藤 正人	03-6719-9461	kato.masato@canon-mj.co.jp